



道農連 2018年7月の月間活動ピックアップ

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

平成31年度予算概算要求に向け、各対策中央行動を実施

道農連は、7月11日～12日に畑作・野菜対策、12日～13日に酪農・畜産対策、18日～19日に米・水田対策で、平成31年度予算概算要求に向けた中央行動を実施し、与党農林関係議員、農水省各担当課、道選出国會議員等へ要請した。

畑作・野菜対策(西原正行畑対委員長)は、各地区代表37名で、持続可能な本道畑作・野菜政策に関して要請した。畑作構造転換事業の内容改善と当初予算による予算確保や野菜価格安定制度の維持と制度の拡充・強化などを求めた。

酪農・畜産対策(佐藤正光酪対委員長)は、各地区代表21名で、国際貿易交渉においては乳製品や牛肉などが大きな影響を受けることから、国産の農畜産物を関税撤廃・削減の対象から除外するなど、確固たる国境措置の確保などを求めた。

米・水田農業対策(大久保明義米対委員長)は、各地区代表19名で、米・水田農業の基本政策確立に向けて、再生産が可能となるよう生産コストと販売価格の差額を補う価格差補填政策などを求めた。なお、併せて大雨災害に伴う農業被害に関する緊急要請を実施した。

道「農」ネットワーク第21回総会を開催

7月20日、道農連や自治労等で組織する北海道「農」ネットワーク(長谷川豊代表)の総会と研修会をニセコ町で開催し、約40名が参加。研修会では「6次産業化の取組み」について(株)高橋牧場ニセコミルク工房の高橋社長が講演。また、後志農業改良普及センターの担当者から後志管内の農業の現状と課題が報告された。21日には、講演した高橋氏が運営するニセコミルク工房等を視察した。

第4回移動執行委員会を開催

道農連は7月30日、第4回移動執行委員会を滝川市で開催した。

8月5日に実施する全道農民総決起集会と街頭宣伝行動の開催内容の確認と基本農政対策、31年度税制改正要望対策・貨物自動車車検期間伸長対策の提言項目や要請項目を決定した。

業態別対策では、中央行動の概要が報告し、引き続き8日～9日に基本農政対策中央行動を実施する。

翌31日の研修では、滝川市のホクレン種苗生産センター等を視察した。

7月の活動記録(上記以外)

- 2日 北海道たねの会道条例PT
- 3日 合成洗剤追放北海道連絡会第2回運営委員会
- 8日 北海道たねの会キックオフイベント
- 10日 道農業再生協議会第1回通常総会
- 13日 立憲民主党農山漁村タウンミーティング・キックオフ集会
- 18日 北海道たねの会道条例PT
- 23日 三役会議
- 24日 道農連女性書記の会幹事会
- 31日 道てん菜協会第49回臨時総会

8月の活動予定

- 1日 道てん菜協会企画調整部会
- 3日 中間会計監査
- 5日 全道農民総決起集会・街宣行動
- 6日 北海道ジャーナリストの会総会
- 7日 北海道たねの会道庁要請・記者会見
税制改正要望対策・貨物自動車車検期間伸長対策中央行動(～8日)
- 8日 基本農政対策中央行動(～9日)
- 13日 JGAP研修会(～14日)
- 23日 道農業青色申告会夏期税講習会
- 30日 第2回組織財政委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください

お申込み・お問い合わせは道農連事務局(TEL:011-241-5416)